

令和5年11月門川町定例教育委員会会議録（概要版）

- 1 日 時 令和5年11月27日（月） 午前8時59分～午前10時56分
- 2 場 所 教育長室
- 3 出席委員 金子文雄教育長、新名章教育長職務代理者、黒木昌代委員、金丸眞委員、山倉照子委員
- 4 事務局 大澤教育課長、奈須教育課長補佐
- 5 議 案 な し
- 6 その他
 - ・教育委員会11月の行事予定について
 - ・11月定例会の日程について
 - ・【勉強会】「門川町の教育に関する取組について」

7 会議の概要

(1) 開会（午前8時59分）

(2) 会議録の承認

教育長から10月定例教育委員会の会議録の承認が諮られ、承認された。

(3) 教育長あいさつ

例月であれば、定例校長会の議事内容についても報告を行っているが、小学校陸上記録会が雨天延期となった都合上、11月の定例校長会が中止となった。については、本日、この機会に、勉強会という形で本町の教育の取組に関して後ほど取り上げたい。

町内では、様々な秋の行事も多く、お祭りなども含めて子どもたちの活躍の場も多い時期である。委員各位には、土日の行事を始めとして、明日開催される小学校陸上記録会にも出会いただくなどお世話になっており、今後も、無理のない範囲で子どもたちの活動の様子を見ていただきたい。

先日、尾末地区のだんじり祭りを拝見した。稚児から小・中学生、地域の高齢者も参加する祭りであったが、地域の先輩たちから若者たちへの指導・助言が実践されており、地域ぐるみの活動の良さが本町には残っている。今後も地域や学校で継承してもらいたいと思う。

(4) 教育長報告

・11月業務報告

- 1日 門川中学校支援訪問
- 2日 10月定例校長会
- 4日 いきいきまちフェスティバル・門川町総合文化祭（日程1日目）
- 5日 いきいきまちフェスティバル・門川町総合文化祭（日程2日目）
- 6日 学校ヒアリング（午後）
- 7日 令和6年度当初予算説明会
学校ヒアリング（午後）

- 8日 学校ヒアリング（終日）
- 9日 第65回全国社会教育研究大会宮崎大会
- 10日 門川高校学習成果発表会
- 13日 感謝状贈呈（田中病院会長）
教育課程（評価）検討委員会
- 15日 わんぱく芸術家壁画制作
- 16日 草川小学校ICTモデル校要請訪問
令和5年度門川町家庭教育学級合同研修会
- 20日 教育長用務（終日）
- 21日 北部教育事務所協議
門川町まち・ひと・しごと創生推進会議
- 22日 高鍋信用金庫寄付金贈呈式
第2回五十鈴小学校支援訪問
- 24日 定例課長会
- 27日 11月定例教育委員会
- 28日 小学校陸上記録会（門川町海浜総合公園）
12月定例議会・一般質問答弁書協議
- 29日 12月定例議会・一般質問答弁書協議

○新名章委員

教育課程（評価）検討委員会に関して、通知表の配布が年2回になり、先生たちの評価は高いようにあるが、保護者からの評価はどうか。

●金子教育長

特に意見などは寄せられていないが、事前説明を入念に行ったことでスムーズに進んだものと思う。また、年2回ということで内容の充実化を図っている。

○黒木昌代委員

1回目の通知表はいつ配布したのか。

●金子教育長

10月に1回目の通知表を配付し、年度末に2回目を配付することとしている。

・12月校長会の議事予定報告

鈴木教育課長補佐が校長会資料に沿って報告

- ①令和6年度の主な行事予定（入学式、卒業式、終業の日）について
- ②研修受講履歴記録システム及び教員研修プラットフォームについて
- ③令和5年度門川町教職員県外視察研修について

○新名章委員

研修受講履歴記録システムと教員研修プラットフォームについては、国主導で導入する

ものか。目的は何か。先生方にとってプレッシャーや負担になる恐れはないか。

●鈴木教育課長補佐

キャリアアップ、個々人の能力開発を目的とするものである。履歴をもとに評価を行うものではなく、自らの受講履歴等を確認することを想定している。

現在、試行的にエクセルを用いた受講履歴管理を行っているが、先生方からは自分で履歴が把握できると好評である。

●金子教育長

以前は、自ら費用を負担し教員免許の更新講習を受講していたが、それに代わるものとして、自らの意思で研修等を受講し資質向上を図るための新たな研修制度として構築するものである。

(5) 議事

なし

(6) その他

・教育委員会12月の行事予定について

奈須教育課長補佐が資料に沿って説明。

・12月定例会の日程について

(1) 12月定例会：12月22日（金）午前9時から

(2) 第1回総合教育会議：12月22日（金）午前11時から

・【勉強会】「門川町の教育に関する取組について」

金子教育長が資料に沿って説明。

○新名章委員

門川の子どもたちをどのように育てていくのか。子どもたちを門川にいかに残していくのか。そのためには、ふるさとへの愛着や誇りを持つことが大事であるが、その理念をどのように具現化していくのかについて、現場で子どもたちと向き合う先生方に伝わるアプローチが大事だと思う。門川の子どもたちは素直で前向きな子が多いので、各取組の広がりを望むとともに期待したい。

○黒木昌代委員

各種の取組を見るにつけ、過渡期にあり、日々変化していく構想であることが理解でき、変化していく将来への期待とともに不安も感じる。課題を解決するための現場の先生方との間に入るコーディネーターやサポーターといった人的・予算的な支援が必要なのではないと思う。専門知識を持った方が関与することでデジタル化推進や地域とのつながり強

化が期待できるのではないか。子どもたちには、地域の中で主体性や協調性を育んでもらいたいと思う。

○金丸眞委員

門川に居たい。あるいは一度町外に出ても帰って来たいと思う子どもたちの気持ちを育んでいくためにも、門川の魅力について大人たちが伝え実践して見せることが大切であると思う。サッカー等の試合で見られるごみ拾い活動等は国際的にも評価され誇りに思うが、そのような誇りや自信の基盤となるものが、常日頃の心がけにあると思うので、門川の先生方にはそのような指導をお願いしたい。

○山倉照子委員

「人を知る」ということが大切であると思う。例えば、明日開催される小学校陸上記録会やわんぱく芸術家についても学校ごとの区分けとなるが、学校区にとらわれない取組等があると良いのではないかと思う。そのような輪が広がれば、将来大人になってからも地域に友人がいることが心の支えとなり、また、Uターンのきっかけとなるなど、すべてに繋がるのではないかと考えるので、特定の学年でも全校の同級生と知り合えるような全体的な行事や交流の場が必要であると思う。

●金子教育長

私は、門川の大事な特色として、各小学校を卒業した児童の多くが門川中学校の生徒となることと思う。明日の小学校陸上記録会の挨拶でも、在籍校を越えた交流を図ってもらいたい旨を話そうと思っている。このことは門川の良さであり強みであると思う。門川中学校の先生方にもその旨をよく話している。

私が目指したいと考えているのは、教育で地域を変えていくことであるが、これは直ぐに結果が出るものではなく、5年後10年後を見据えた取組が必要である、門川町教育振興基本計画に掲げた人材の育成に努めたい。また、各学校でも全体構想を作ってもらっているところである。

親や地域の働きかけとともに体験活動をとおして、子どもたちが地域のことや良さを感じ取り、ふるさとを想う気持ちを育んでいけるよう、門川町教育委員会としてもどのような子どもたちを育てたいのかを念頭において事業展開を図っていきたい。

【その他、教育長、各委員と意見交換】

8 閉会（午前10時56分）